

OSJ工房 よりそいの丘

利用者様のステップアップを目指して

OSJ工房よりそいの丘が開設し1年が経ちました。各関係機関等のご支援を賜り利用者様が笑顔で働ける環境づくりになるよう職員一同取り組んで参りました。

A型では、1日に約500個のパンを利用者様と共に製造し、日々の気温や湿度によって変化する生地と格闘しながらも、少しでも美味しいパンをお届けできるようにと心を込めて製造しています。利用者様もやりがいを感じながら楽しく仕事をしております。

B型では今年より本格的に始動した畑からゴーヤ・トマト・オクラ等が実りを始め、日々手入れをしながら成長していく姿に楽しさと喜びを感じながら収穫も始まっています。

今後も引き続き利用者様がステップアップ出来るよう職員一丸となって精一杯取り組んで参ります。



栄養科

当施設の食事は、毎食が選択メニューとなっているのが特徴です。朝食は、和食と洋食、昼食・夕食は、主菜3種類から一品を選んでいただく形式になっています。食事は、栄養を摂るためだけでなく、楽しみや喜びであり、生活の質を高める重要な役割を持っています。「食べる」ことによって、笑顔があふれるような食事提供を目指すと共に、衛生管理を徹底し、安全で美味しい食事づくりを、(株)マルワの調理スタッフと連携して行っています。



医務

気候のいい、この時期に、出来るだけ身体を動かしてみませんか。

運動は、健康の維持だけでなく、体力の向上にも役立ち、免疫力アップにもつながります。

当ホームでは、毎朝 ラジオ体操を行っていますので、職員も利用者様も出来る限り参加し、少しでも身体を動かしましょう。又、体調のいい日にお散歩をされる方もおられると思いますが、決して無理せず、スピードも時間も自分の体力に合ったペースで歩きましょう。

そろそろ、ノロウイルス インフルエンザ感染症の流行時期になります。

今から、体力作りを始めましょう。

デイサービスセンター「ふれあい」

みなさんこんにちは。デイサービスセンター「ふれあい」の横川です。

さて、当デイでは毎月2回、おやつレクリエーションとして、みなさまのご希望や季節、行事に応じたおやつを手作りしています。

8月は「夏祭り縁日風?!」ということで、ミルクせんべいやクリームソーダ、紐くじや当てもの等のミニ屋台をご用意しました。女性スタッフは浴衣に着替えて雰囲気アップ!花を添えてくれました。くじやゲームの方は景品等で盛り上がりました。

次の9月は、パンケーキを作ろうということになり、こちらは「よかった」、「おいしかった、しあわせや」という声を頂きました。これからも、失敗と皆様のお声をバネに、喜んでいただけるような内容、味にしていきたいと思っております。



毎年恒例となっている夕涼み会を7～9月に1回ずつ行いました。

皆さん楽しみにされている行事の一つであり今年も多くの利用者様が参加されました。かき氷、フランクフルト、たこ焼き、ビールなどが用意され、カラオケを楽しみながら大いに盛り上がりしました。

また、9月には初の試みとなる屋上庭園で行いました。いつもと雰囲気も変わり、少しずつ秋が近づいているのを感じながら皆さん喜ばれていました。



盆踊り



8月1日に行なわれた地元の新上小阪地域の盆踊りに参加させて頂きました。

賑やかな河内音頭に満ちた会場に、ワクワクする露店の数々、楽しさが溢れて利用者様、地域の皆様、ボランティア様等と輪に成って踊った夏の思い出...

一年後が待ち遠しいですね。

個別外出



2階

7月は回転寿司食事会、8月はブラジル料理を食べに行きました。

参加された利用者の皆様にはおいしかったと喜んで頂き、明るい笑顔で帰られました。

3階

7月から9月の間に渡ってフロアの行事として、くら寿司、カラオケ、ショッピングモールへの少人数外出会を催しました。3階



利用者様の趣味や、嗜好に合わせ企画させていただき、たくさんの笑顔が見られました。

4階

7月は、セタプラネタリウムコンサートを企画、ピアノやパーカッションでの演奏がありました。9月は施設



でのかき氷作り、「なつかしい味だなあ」と利用者様の笑顔や昔話で楽しんで頂きました。

近畿大学交流 ステップアップ事業

建築学部

近畿大学の建築学部の学生さんと、当施設の4階娯楽室の設えの工夫に取り組んでいます。

7月前半に学生さん2名が模型で設え案を作成して下さいました。(写真参照)

それを受け、7/27にご利用者様向けに学生さんが考えたプレゼンテーションを行いました。利用者様は、設え案の説明を熱心に聴いておられました。利用者様から学生さんに質問されたり、ご意見をおっしゃって下さったり等があり、学生さんとの交流もでき、有意義な時間を過ごされました。

今後は設えの変更を検討、実施、となっています。次回の広報誌でその娯楽室のビフォーアフターが載せられれば...と考えています。



総合社会学部

近畿大学総合社会学部の先生方、生徒さんと一緒に何か

に取り組んでいく事になりました。総合社会学部心理学専攻科の皆様とは「利用者との対話における回想法などを用いた分析、研究」と「職員のメンタルヘルスに関するアンケート実施と分析、フィードバック」を共に取り組み、8月ではほぼ終了しています。後は分析結果となりますが、今後とも近畿大学の皆様と継続的に何かに取り組んでいける足がかりになればと思います。



ふ れ あ い

題 字 辰巳 神 兄

第105号

発行日 平成27年10月吉日
 発行人 大田 和人
 東大阪養護老人ホーム 編集委員会
 東大阪市新上小阪11-2
 東大阪養護老人ホーム 06-6726-3031
 E-MAIL hoy@ace.ocn.ne.jp
 http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

敬老祝賀会

涼風が気持ちのいい気候の折、9月17日に敬老祝賀会を開催いたしました。移転して2度目の祝賀会でしたが、日頃より施設運営に尽力して下さっている自治会長様をはじめ老人クラブ活動の先生方、第三者委員と多くの方々にご臨席頂きました。また東大阪市長にもお越しいただきご祝辞を頂戴いたしました。今年度は利用者様150名のうち喜寿を迎えられた利用者様が8名、米寿が5名、白寿が1名いらっしゃいました。また100歳以上の方が3名いらっしゃり、最高齢はなんと106歳の男性でその方はお食事もお風呂も基本的には自立されており、歩行器を使って歩行されています。そして謝辞では利用者代表が感謝のお言葉を立派に述べて下さいました。



午後からの演芸会では民謡クラブ白鷺会による祝いの舞や、日赤芸能奉仕団によるマジックや大道芸歌謡ショーが行われ、笑いや歓声を多く聞くことができました。また来年も利用者様にはお元気で祝賀会に参加していただけるよう職員一同、精一杯支援に努めて参ります。



ISO9001 取得に向けての経過報告

今年度は養護老人ホーム本体とデイサービスのISO9001 2015年度版の取得を目指しています。施設移転後から毎年新しい事に取り組んでいく姿勢を大事にし、行事面や接遇面でもより利用者様に満足して頂ける施設になる事を目標にしています。その目標を管理し、見失わないようにISO9001の取得をし、今後もISO9001が掲げる「顧客満足」「継続的改善」に取り組んでいければと思います。ISO9001と共に成長していけるような施設を目指していきたいと思っています。

転入・新規職員紹介

東大阪養護老人ホームに新しく着任しましたスタッフを紹介します。

育児休業からの復帰



介護支援員 奥田 和代

上六万寺の老人ホームで、出産・育児の為に長期間お休みを頂き、この新しい施設へ「帰ってきました。」皆様があたたく出迎えて下さり、感謝しています。仕事を早く覚えて、皆様の支援をさせて頂きますのでどうぞ宜しくお願い致します。

新入職員



看護職員 日浦 永子

8月1日より看護職員として働かせていただいています日浦永子です。今までには急性期病院や老健施設等で勤めてきました。その時の経験を活かしていける様に日々頑張っていきたいと思っています。初めは多々ご迷惑をかけると思いますがよろしくお願いします。

転入職員



生活相談員 西川 忠良

はじめまして。7月13日より豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかより転動してきました、西川忠良です。利用者様が安心して笑顔で暮らせるように頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

新入職員



生活相談員 寺柿 洋

新入職員の寺柿と申します。5月26日より配属になり生活相談員をさせていただいております。利用者様が安心して相談できるような支援員になれるよう日々努力いたしますのでどうぞ宜しくお願い致します。

新入職員



介護支援員 金井 和也

10月1日より東大阪養護老人ホームで働きます。解らない事ばかりですが頑張りますのでよろしくお願いします。

新入職員



訪問介護員 富田 麻純

ヘルパーステーション「ふれあい」で勤務させて頂くことになりました富田です。一人でも多くの利用者様が笑顔で過ごせるような支援をしていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

転出者 後藤 彰 → 永寿園とよなか 徳森 祐貴 → 高槻荘 奥田 理恵 → 美原荘 **退職者** 水谷 真弓

『フォローアップ研修』を受けて

大阪府社会福祉事業団には研修推進室があり、職員の人材育成を行っています。研修の1つに人材育成担当者が施設に出向き、一緒に業務に携わりながら指導をしたり、個別面談を行ったりする『フォローアップ研修』があります。

東大阪養護老人ホームでも必要時にフォローアップ研修を受けています。今回は研修室の折田さんから寺柿相談員が1日受講しました。

研修を通じて学んだ事は利用者様の立場に立つて支援を行う事です。日々の関わりでも話しやすい雰囲気を作る為に笑顔とハキハキと対応する事を意識しています。相談員としては制度等の知識がなければ利用者様に不利益になつてしまう事もありますので自己啓発を忘れない事をアドバイスいただきました。

また技術的な面だけでなく些細な悩みにも親身に相談にのっていただきました。入職時から入職直後、そして配属後4か月時点の現在まで手厚くフォローしていただいています。研修を通じて学んだ相手の立場で考える事で利用者様に還元できるよう日々努力していきたいと考えています。

編集後記

苦情解決等に関する取り組みについて

苦情内容

職員に対して問い合わせしていたことの返答がなかった。

今後の対応

返答については行っていたが細かい点まではお伝えできておらず、今後はご本人にご納得していただけるよう丁寧な説明を心がけていきます。

自治会の皆様はじめ地域の方々や利用者様の協力があり今回も無事に広報誌を発行することが出来ました。これからも施設行事や各種取り組み等広報誌を通じて発信していきます。次回もお楽しみに。